

授業科目	日本語学概論				単位	2		
履 修	選択	関連資格	日本語教員		ナンバリング			
開講年次	1	開講時期	後期	該当DP	DP1-1 DP3-1			
担当教員	溝部 エリ子							
授業概要	日常の身の回りの言語表現を取り上げ、そのしくみを歴史的・社会的・地域的背景とともに考察することによって、豊かで鋭い言語感覚を習得し、自己のことばを科学的に観察することが出来る能力を養うとともに、日本語学の基礎的知識と研究法を体得することを目標とする。							
学生が達成すべき行動目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 豊かで鋭い言語感覚を習得することができる。 2. 自己のことばを科学的に観察することができる。 3. 日本語学の基礎的知識を体得することができる。 4. 文化理解への視野が広がり、国際人として活躍することができる。 							
達成度評価								
評価と評価割合／ 評価方法	試験	小テスト	レポート	発表(口頭、プレゼンテーション)	レポート外の提出物	その他	合計	備考
総合評価割合	50	0	0	0	0	50	100	
知識・理解 (DP1-1)	50						50	
知識・理解 (DP1-2)								
知識・理解 (DP1-3)								
知識・理解 (DP1-4)								
思考・判断 (DP2-1)								
思考・判断 (DP2-2)								
関心・意欲 (DP3-1)						50	50	
関心・意欲 (DP3-2)								
態度(DP4-1)								
態度(DP4-2)								
態度 (DP4-3)								
技能・表現 (DP5-1)								
技能・表現 (DP5-2)								
技能・表現 (DP5-3)								
具体的な達成の目安								
理想的レベル				標準的なレベル				
日本語学について学んだことを、自分のことばで他の人に分かりやすく説明できる。				<ol style="list-style-type: none"> 1. 豊かで鋭い言語感覚を習得することができる。 2. 自己のことばを科学的に観察することができる。 3. 日本語学の基礎的知識を体得することができる。 4. 文化理解への視野が広がり、国際人として活躍することができる。 				
授業計画								
進行	テーマ・講義内容			授業の運営方法		学習課題(予習・復習)		予習・復習時間(分)

1	オリエンテーション 授業の概要を説明し、履修方法や授業の目的、達成目安、評価の内容と方法を理解する。言語としての日本語の特徴を解説する。	講義	予習: 該当部分の予習	60
2	日本語の文法1 「品詞分類」「動詞の活用」「日本語の文法的特徴」について、詳しく解説していく。	講義	予習: 該当部分の予習	60
3	日本語の文法2 「自動詞と他動詞」「可能表現」「使役表現」「受身表現」「授受表現」等について、詳しく解説していく。	講義	予習: 該当部分の予習	60
4	文字・表記1 「常用漢字」「漢字の筆順」「送り仮名の付け方」等について、詳しく解説していく。	講義	予習: 該当部分の予習	60
5	文字・表記2 「外来語の表記」「ローマ字の表記」「日本の文字の歴史」等について、詳しく解説していく。	講義	予習: 該当部分の予習	60
6	語彙 「語種」「語構成」「語彙の体系」「位相」等について、詳しく解説していく。	講義	予習: 該当部分の予習	60
7	社会言語学 「敬語」「方言と共通語」「コミュニケーション・ストラテジー」等について、詳しく解説していく。	講義	予習: 該当部分の予習	60
8	学ぶということのメカニズム1 「心理学と日本語教育」「学習とは?」「発達と成熟と学習の関係」等について、詳しく解説していく。	講義	予習: 該当部分の予習	60
9	学ぶということのメカニズム2 「初期学習」「言語の習得と臨界期」「条件付け学習」等について、詳しく解説していく。	講義	予習: 該当部分の予習	60
10	第2言語の習得1 「母語習得」「学習者の言語の特徴」「母語の影響」について、詳しく解説していく。	講義	予習: 該当部分の予習	60
11	第2言語の習得2 「教室指導と第二言語習得」「第二言語習得に関する個別要因」について、詳しく解説していく。	講義	予習: 該当部分の予習	60
12	日本語の音声1 「音節」「リズム」について、詳しく解説していく。	講義	予習: 該当部分の予習	60
13	日本語の音声2 「母音」「子音」「半母音」について、詳しく解説していく。	講義	予習: 該当部分の予習	60
14	日本語の音声3、まとめ 「音素」「母音の無声化」「アクセント」「イントネーション」について、詳しく解説していく。この授業のまとめを行う。	講義	予習: 該当部分の予習	60
15				
16				
17				
18				
19				
20				

21				
22				
23				
24				
25				
26				
27				
28				
29				
30				
理解に必要な予備知識や技能	積極的な取り組みの姿勢が必要です。			
テキスト	『新・はじめての日本語教育・1(増補改訂版)』高見澤孟監修(アスク講談社)(2016)			
参考図書・教材／データベース・雑誌等の紹介	授業の際に紹介する。			
授業以外の学習方法・受講生へのメッセージ	<p>1. 出席と積極的な参加を重視します。</p> <p>2. 欠席1回につき、「出席を含む授業態度」が3パーセントずつ減点されます。欠席5回で自動的に不可となり、遅刻・早退は2回で欠席1回とみなされますので、正当な理由があり欠席・遅刻・早退する／した場合は、必ず届け出ておくこと</p> <p>3. 皆さんが日常的に使っている日本語を、色々な角度から分析・解説していきます。授業以外の時間でも、「これはどうなんだろう？」という疑問を持ち続け、分からないところは、自分で調べてみましょう。</p> <p>その繰り返しで、皆さんの母語である日本語を磨くことにつながります。</p>			
達成度評価に関するコメント	「達成度評価」の「その他」は、授業への積極的参加とします。			

